

令和5年度 桃ヶ丘小学校区地域協議会事業計画

時期	内容	概要
通年 (月例)	役員会・各部会	<p>【役員会】 総会の開催準備、各部会間の報告及び情報交換、地域づくりの会合、地域協議会のPR並びに委員の募集を行う。</p> <p>【防災・防犯部会】 学区防災訓練の開催に向けた打ち合わせ、市の総合防災訓練の打合せ、行政や小中学校、自主防災組織と連携した避難運営体制の検討、その他地域防災力の発展に資する事業を行う。</p> <p>【交流部会】 桃ヶ丘小学校区リクレーション運動会の打合せ、地域住民の絆づくりに関する事業を行う。</p> <p>【福祉部会】 桃ヶ丘小学校区福祉増進に繋がる事業の検討、福祉の発展に資する事業を行う。</p> <p>【環境部会】 桃ヶ丘小学校区の環境美化を図るため「花いっぱい運動」を推進する。 あおぞら市場を定期的で開催し、農協、地域の農家等に積極的にいかかわって行く。</p> <p>【多文化共生部会】 桃陵中学校外国籍生徒との交流を深め、お互いの理解促進に繋げる交流事業を行う。</p>
【防災・防犯部会】		
10月頃	小牧市総合 防犯訓練 災	地域の各区関係者、行政機関、役員等を入れた総合防災訓練を行う。 毎年のテーマに基づいて小牧市全体で各小学校単位で行う。 *小牧市の総合防災訓練の主会場は、桃陵中学校で実施する。
通年	防犯パトロール	学区の防犯力を高めるため、夜間パトロール並びに啓発活動を実施する。 桃ヶ丘1・2・3区、古雅4区において実施する。
【交流部会】		
通年	地域交流イベント	桃花台まつりは、従来より規模を縮小して行う。 地域住民の交流を図るため、桃花台まつり、PTA主催のピーチフェスタに協賛し、リクレーション運動会に参加・協力すると共に児童との交流を深める。
【福祉部会】		
通年	サロン活動	校区内の4サロンの活動を通じ桃ヶ丘、古雅、城山地区の中老年の憩い及び集いの場として、活動を充実・発展させ「仲間づくり」の構築を図る。
【環境部会】		
2回/年	耕作農園	桃ヶ丘小学校内に農園を開設し、春・秋の野菜等を栽培、児童と体験収穫を実施。
2回/年	あおぞら市場	あおぞら市場を定期的で開催し、農協、地域の農家等に積極的にいかかわって行く。 *開催予定日は、6月と10月に行う。
2回/年	花いっぱい運動	桃ヶ丘小学校の環境美化向上及び生徒・学校関係者の負担軽減するため、「花いっぱい運動」の花植えつけ作業を推進する。
【多文化共生部会】		
9月頃	懇談会	桃陵中学校において、外国籍生徒と役員・行政職員間でテーマをきめて、フリートークを実施する。

## 令和5年度桃ヶ丘小学校区地域協議会収支予算

### 【収入】

単位：円

科 目	令和4年度	本年度	前年度比	説 明
地域助け合い交付金	1,820,000	1,870,000	50,000	地域づくり事業費 (1,370,000)
				協議会運営経費 (300,000)
				事務員人件費 (0)
				委員活動費 (200,000)
合 計	1,820,000	1,870,000	50,000	

### 【支出】

単位：円

事 業	科 目	令和4年度	本年度	前年度比	説 明
地域づくり 事業費	地域づくり 事業費	1,370,000	1,370,000	0	学区防災訓練 (100,000)
					防犯パトロール (50,000)
					校区交流イベント (300,000)
					レクリエーション運動会 スポーツ教室 他 (220,000)
					サロン交流事業 (200,000)
					環境美化運動 (200,000)
					あおぞら市場事業 (200,000)
					多文化共生交流会 (50,000)
					予備費 (50,000)
協議会 運営経費	食糧費	30,000	30,000	0	各種会議の折のお茶代等
	消耗品費	64,000	64,000	0	一般事務用品等
	備品購入費	0	0	0	令和5年度は備品購入の予定なし
	印刷製本費	50,000	50,000	0	会議資料のコピーや印刷代等
	通信費	50,000	60,000	10,000	事務所インターネット(Wi-Fi)通信費等
	使用料及び 賃借料	36,000	36,000	0	事務所賃料等
	手数料	10,000	10,000	0	振込み手数料等
	謝礼	10,000	50,000	40,000	監事謝礼・事務委託謝礼
	小 計	250,000	300,000	50,000	
事務員人件 費	事務員人件 費	0	0	0	事務員の人件費等 ※配置の目途がついた場合別途申請
委員活動費	委員活動費	200,000	200,000	0	役員・運営員等の活動費
合 計	合 計	1,820,000	1,870,000	50,000	

※各事業の科目において過不足が生じた場合は、科目間で流用することができる。